

SAFETY JOGGER PROFESSIONAL

Light

EDEN 01 LOW

EDEN

滑りにくく、金属を使わない快適な履き心地の作業用スニーカー

スリップオン、キャリーオン！完璧な″イン＆アウト″シューズであるこのスリッポンタイプのワークトレーナーは、耐滑性に優れたラバー / EVAアウトソールを備えています。かかとのエネルギー吸収、幅広の快適なフィット感、ソフトな衝撃発泡インソール、軽量設計などの機能により、このESDシューズを履くのが楽しくなります。

アッパー	ロリカ, メッシュ
裏地	リサイクル3Dメッシュ（100%リサイクル素材）
インソール	SJ リサイクルフォームインソール（96%リサイクル素材）
ランニングソール	ファイロン/ラバー
カテゴリー	01 / SRC, ESD
サイズ範囲	EU 35-47 / UK 3.0-12.0 / US 3.0-13.0 JPN 21.5-31 / KOR 230-310
サンプル重量	0.245 kg
規範	ASTM F2892:2024 EN ISO 20347:2012

CO_2 3.99 kg



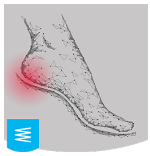
BLK



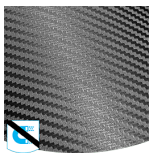
3Dメッシュ
立体的に生成されたディスタンスメッシュにより、湿度と温度管理を強化。



静電気放電（ESD）
ESDは、電子部品を損傷する可能性のある静電気エネルギーの制御された放電を提供し、静電気から生じる発火の危険を回避する。100 KiloOhmから100 MegaOhmの間の体積抵抗。



ヒールエネルギー吸収
ヒールのエネルギー吸収により、ジャンプやランニングが着用者の身体に与える衝撃を軽減します。



メタルフリー
金属無料安全靴は、一般的に通常の安全靴よりも軽いです。彼らはまた、金属探知機を数回、日を通過する必要がある専門家のために非常に有益です。



オキシグリップ / SJグリップ
Oxytraction®テクノロジー搭載のラバーアウトソールは、乾いた床でも濡れた床でも優れたトラクションを発揮し、SRC（SRA+SRB）規格に適合しています。



SRC滑り抵抗
耐滑靴底は、安全靴や作業靴の最も重要な機能の1つです。SRCの耐滑靴底は、SRAとSRBの両方の耐滑試験に合格しており、鉄とセラミックの両方の表面で試験されています。

産業分野:
クリーニング, ケータリング, メディカル

エンバイロメント:
ドライ環境, 極端に滑りやすい路面

メンテナンス方法:
靴を長持ちさせるために、定期的にクリーニングし、適切な製品で保護することをお勧めします。靴を暖房器具の上や熱源の近くで乾かさないでください。

試験結果:

	商品説明	EN ISO 20347	結果	測定単位
アッパー	**ロリカ, メッシュ**			
	上段：水蒸気透過性	≥ 0.8	2.18	mg/㎠ /h
	上段：水蒸気係数	≥ 15	18	mg/㎠
裏地	**リサイクル3Dメッシュ (100%リサイクル素材)**			
	裏地：水蒸気透過性	≥ 2	70	mg/㎠ /h
	裏地：水蒸気係数	≥ 20	350	mg/㎠
インソール	**SJ リサイクルフォームインソール (96%リサイクル素材)**			
	フットベッド：耐摩耗性（ドライ / ウェット）（サイクル）	25600/12800	25600/12800	しゅうき
ランニングソール	**ファイロン/ラバー**			
	アウトソールの耐摩耗性（ボリュームロス）	≤ 150	105	㎣
	アウトソール滑り抵抗 SRA：ヒール	≥ 0.28	0.44	フリクション
	アウトソール滑り抵抗 SRA：フラット	≥ 0.32	0.48	フリクション
	アウトソール滑り止め SRB：ヒール	≥ 0.13	0.25	フリクション
	ランニングソールの耐滑性 SRB：フラット	≥ 0.18	0.29	フリクション
	帯電防止値	0.1 - 1000	N/A	メガオーム
	ESD値	0.1 - 100	60	メガオーム
	ヒールエネルギー吸収	≥ 20	28	J

サンプル数: 38

当社の靴は常に進化しており、上記の技術データは変更される可能性があります。すべての製品名とブランド名Safety Jogger は登録されており、当社の書面による同意なしに、いかなる形式でも使用または複製することはできません。

エコロジカル・フットプリント:

	商品説明	結果	測定単位
CO#排出量			
	素材	1.73	kg
	包装	0.10	kg
	生産	1.90	kg
	輸送	0.26	kg
		3.99 kg CO2 / ペア	

	商品説明	結果
リサイクル素材の割合		
	Product	18%
	包装	99%

CO2の算出:
数値は小数点以下2桁で四捨五入されます。
これらの分析は、コルティナ・グループ内で開発された独自の環境計算ツールを使用して行われます。CO2値は計算時点でのものであり、変更される可能性があります。